



ジュニア育成支援の協定に記名するゴルフ関係者10日、エリエールゴルフクラブ松山

ゴルフ ジュニア育成へ協定

県協会・5クラブ・未来高

県ゴルフ協会、県内五つのゴルフクラブ、未来高は10日、ジュニアゴルフアソシエーションを地域で育成するための連携協定を結んだ。

協会によると、高校進学で県外に出る有力ジュニア選手が増え、競技力の低下が懸念されている。県内の高校に通いながら練習しやすい環境を整えること

で、若い選手たちが地域で育つよう支援したい考えだ。

協定によって、未来高ゴルフ部員は、新居浜C、滝の宮C、シーサイド、エリエール松山、大洲Gの五つのゴルフ場で、土日の一般プレー終了後にカートなしで無料プレーができる。定期練習会やジュニア大会も開く予定だ。

エリエール松山（松山市柳谷町）であった調印式で、協会の高橋祐二会長は「ジュニア流出を食い止め、ゴルフによる地域活性化につなげたい」、未来高の野村和弘校長は「通信制の特長を生かしスポーツや文化活動に励む在校生もいる。役割を果たせるよう努力する」と述べた。

協会はゴルフ部のある県内の他高校とも連携を目指す。

（宇和上翼）